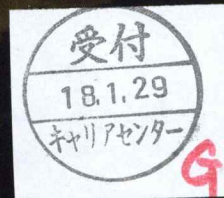


QUARTERLY P.R. MAGAZINE

Net-You

No.108 JAN.2018

PRONETS
GROUP



CONTENTS

- 1 森羅万象に飽くなき関心を ～2018年 社長年頭挨拶～
代表取締役 島倉 峰雄
- 2 2018年事業部門代表年頭挨拶
★気を引き締める 常務取締役 島倉 農
★人材投資 取締役 平山 代士
★“No Challenge, No Fun” ネットワークソリューション事業推進部長 伊藤 達夫
★プロの技術者としてさらなる成長を遂げよう！ モバイルネットワーク事業部・マネージャー 長尾 春樹
★技術・プロセスを継承しよう 取締役 原田 正昭
★働き方を考える！ 取締役相談役 歌野 孝法
★新年のご挨拶 サービス&プロダクト事業部・マネージャー 口石 好輝
★新しく成長する事業部に向けて ネットワークサービス運営事業部・エキスパート 植村 吉博
- 6 2017年 プロネッツグループ大望年会 ～12月9日 群馬県・草津温泉 ホテル櫻井～
- 7 2018年 社長年頭訓示・新年会 ～1月4日 新宿NSビル30F スカイカンファレンス～
プロネッツグループ全社員スマートフォン貸与のお知らせ
- 8 島倉常務のつぶやき 連載企画
★第19回『疑問に思うこと』 常務取締役 島倉 農
- 9 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の基礎知識
★第13回 ISMS 規格要求の理解 (その4)
- 10 わたしの休日 第30回
★公園巡り 安藤 凜太郎
★伊勢・志摩旅行 石井 綾
★食巡り 岡崎 大志
- 11 2018年プロネッツカレンダー作品紹介
- 12 日本の四季 プロネッツカレンダー写真背景紹介



森羅万象に飽くなき関心を

—— 2018年 社長年頭挨拶 ——



(株)プロフェッショナル・ネットワークス
代表取締役 島倉 峰雄

あけましておめでとうございます。皆々様にとり、実りある一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。政治的にも経済的にも先行きの見えない世の中ですが、こうして新しい年を迎えることができたのは、お客様からの変わらぬお引き立ての賜物でございます。誌面を借りて改めて御礼を申し上げます。

さて、昨年あらゆる分野で動きの激しい年でした。その中には、私どもの事業に直接影響が及ぶと思われる変化も少なくありません。2018年以降、私たちが向かっていくべき方向を見極めるためにも、昨年起きたいくつかの出来事から時代の流れを読み解きたいと思います。

まず、政治面の動きですが、昨年は何と言ってもアメリカにおけるトランプ新大統領の誕生が世界に大きな影響を与えました。TPPからの離脱や対北朝鮮政策の変化による極東の安全保障への影響については周知の通りです。こうした政治的な変化は世の中を動かすルールそのものを変えてしまうため、遠い世界の出来事と思わずに関心を持つことが大切です。当社に身近な例を挙げると、FCC (連邦通信委員会) が、「通信の中立性」という規定の撤廃を承認しました。この決定にはトランプ大統領就任が強く影響していると言われていています。規定内容について詳しい説明は省きますが、要は「通信インフラは公共物であるから、通信事業者は特定の通信を差別あるいは優遇してはならない」というものです。この規定が撤廃されたためアメリカでは通信事業者の自由度が高まり、自らの通信料金プランにバリエーションが生まれるだけではなく、インターネット事業者のサービスにも影響を及ぼす可能性があります。ヨーロッパ諸国も一部を除きアメリカと似た立場をとる一方、インドなど真逆の政策を掲げている国もあり、世界を二分しています。日本では電気通信事業法で通信の秘密が保護されているため、通信事業者の自由度は低いのが現状ですが、今後世界の潮流次第で変化する可能性もあります。通信業界に関わる私たちにとって、当面注視しておくべきトピックといえます。

次に、テクノロジーの目覚ましい進歩について触れたいと思います。一昨年、世界最強の囲碁棋士といわれるイ・セドル氏を、AIを用いたGoogleのアルファ碁が破り話題になりました。昨年は、そのアルファ碁の最新バージョンがイ・セドル氏を破った一昨年の旧バージョンに100戦全勝したとのこと。テクノロジーは凄まじい勢いで進化しています。AIは既に私たちの生活に密接に関わり始めています。進化しているのはAIだけではなく、IoT、Fintech、量子コンピュータ、ロボット、通信分野で言えば5Gなど、様々なテクノロジーが密接に関わり合い進化しています。こうしたテクノロジーは拡散するため、私たちはいずれ、誰でもその恩恵を受けられるようになります。しかし、私たちはこれまで通信分野の発展に貢献してきたように、こうした新しいテクノロジーを活用し、世の中に価値を提供する立場に身を置きたいものです。そのためには、学ぶことが肝要です。森羅万象は無限であり、かつ刻々と変化するものですから、全てを身に付けることは不可能ですが、飽くなき関心を持ち学ぶことが、来る時代がどのようなものであろうと適応できる唯一の方法であります。

昨年末、将棋の羽生善治さんが永世七冠を達成しました。その会見の席で、羽生さんは「将棋そのものを本質的にはわかっていない」と仰いました。永世七冠を達成してなお謙虚な姿勢を貫く心構えこそが、大偉業の原動力になったことは想像に難くありません。心が変われば行動が変わります。私達も心構えを見つめ直し、2018年という時代に相応しい行動をしていこうではありませんか。

気を引き締める

2018年事業部門代表年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます。常務取締役の島倉でございます。本年も宜しくお祝い申し上げます。

昨年は、皆様にとってどのような一年でしたでしょうか。世の中一般的な話では、2020年には東京でオリンピックが開催されるということで、私どもの業界を含め全体的に景気が上向き傾向にあると言われております。そのなかで、私どもの環境を振り返ると確かにお客様からのお仕事のお話はこれまでと比べ、頻繁にいただくようになった感覚があります。他の会社様からは、仕事はあるけど技術者がいないという言葉をよく聞きます。ただ、これが俗にいうオリンピック景気というものであるならば、あと二年くらいでこのバブルははじけ、全体的に景気が下向き恐れがあります。今は活況かもしれませんが、その流れに素直に乗ることが正しいことなのでしょうか。二年後、景気に左右される企業になってしまっていたら、社員に対してはもちろんのこと、お客様にもご迷惑をかけてしまいます。このような時こそ、気を引き締めて世の中の景気の良さに流されることなく、自分自身の足元を見ながらやるべきことを着実に推進し、企業の力をつけていく必要があると考えます。具体的に申し上げますと、会社としての売りとなるテクニカルスキルやヒューマンスキルを明確にし、個々がそれに向けて半歩でも一歩でも成長することです。そうすれば、必ずストロングな会社になるでしょう。2020年は東京でオリンピックが開催される年であるということだけで、何かのゴールではありません。会社はその先も継続し、私たちは生き続けるのです。ですから、今一度気を引き締めて様々なことに取り組んでいきたいと思っております。

末筆ではございますが、2018年が皆様にとってこれまででもっとも素敵で一年になりますことを願い、新年のご挨拶とさせていただきます。



常務取締役
島倉 農

技術・プロセスを継承しよう

2018年事業部門代表年頭挨拶

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は、ソフトウェアの開発遅れ、品質問題が発生致しました。問題解決のため、プロジェクトに介入し、技術者の方と多くのミーティングを重ねさせていただきました。ミーティングを通して気付きをお伝えさせていただきました。

現在のソフトウェア開発は、基礎技術がプラットフォーム化されており、このプラットフォームにアプリケーションを作り込む形態が主流となっています。過去にプラットフォーム開発を経験したメンバは、基礎技術・ノウハウが蓄積しておりますが、プラットフォーム開発を経験したことがないメンバは、これらの本質を理解することなく、ブラックボックスとしてプラットフォームを利用することに終始しているため、基礎技術・ノウハウが身につけておりません。

また開発プロセスにおいては、小規模プロジェクトの場合プロジェクト管理の仕組みがなくとも、阿吽の呼吸で乗り切ることができるかもしれませんが、しかし規模が大きくなると、ドキュメント体系や品質管理のルールが必要となります。このルール化も長い時間を掛けて弊社内で作り上げてきたノウハウがあったはずですが十分に継承ができていないようです。

時代の変化に順応していくためには、基礎をしっかりと身に着けることが重要です。原点に立ち戻り、技術・プロセスについてミーティング・研修・日々の業務を通じて、次の世代に継承し、継承が企業文化になるよう組織作りを目指したいと思います。

「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かず」、この言葉の意味を十分理解した上で、部下を持つ立場の人たちは、日々の業務に当たってほしいと思います。

最後になりますが、今年一年の皆様の活躍を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



取締役
原田 正昭

人材投資

2018年事業部門代表年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は21年ぶりの株価上昇が話題となりましたが、折しも、ご退位と元号改正の日程が発表され、この30年間の思い出おこされました。「平成とは『成金を平らげる』と読みます。」この発言を追うようにしてバブルは崩壊しました。その後20年あまり景気低迷と株価下落がつづき、日本は長期停滞に陥ったとみなされました。しかし、そこでアベノミクスが発動され、景気と株価の回復がすすみました。はたして日本は長期停滞から脱出できるでしょうか。ここからが正念場です。

今後は、企業の稼ぐ力をさらに高めるための投資が必要だといわれます。先行する米国では、投資の重点が施設や設備等の有形資産から、人材や知的財産等の無形資産へ移っているとされます。日本では、有形から無形へ重点が移るのでなく、ひとつになって進むのではないのでしょうか。IoT、AI、ロボットなどを自在にあやつる職人がたくさん現われる、そのように想像できないでしょうか。

政府の『未来投資戦略2017』も、第4次産業革命（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、シェアリングエコノミー等）をにう人材への投資を強調しています。具体的には、初等中等教育におけるプログラミングであり、社会人の生涯学び直しにおけるIT・データスキル習得です。近いうちに、孫たちがプログラミングを学ぶ一方で、ばあば・じいじはITをつかいこなす訓練をする、という光景がみられるかもしれません。

私たちは毎日の仕事で、第4次産業革命の分野にかかわって、学びと教えを行なっています。子供たちやお年寄りとともに産業社会の革新に参加する気持ちが、すこしずつ湧いてくるのを感じます。

健康に気をつけましょう。ときには、鳥の鳴くのをきき、草の匂いをかいでみましょう。

終わりに、皆様にとって本年が良い年でありますことを祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



取締役
平山 代士

働き方を考える！

2018年事業部門代表年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお祝い致します。

昨年も当社は、順調に業績を伸ばしており、これも偏に社員の皆さんの日々の業務への取組みによる成果であり、改めて深く感謝申し上げます。

さて、このところ「働き方改革」という言葉を目にする機会が増えているように思います。この「働き方改革」では、「だれもが働きやすい職場環境」、「ムダなく生産性の高い働き方」を実現することで、所得や消費の拡大、出生率の改善など、国は様々な社会的課題の解決に結びつけようとしており、労働基準法や税制の見直しを進めるなど、「一億総活躍社会実現に向けた最大のチャレンジ」としています。

国全体で急進的な取り組みが進められている背景として、①人口・生産年齢人口の減少に伴い想定される経済規模や労働市場の縮小、②低い労働生産性（日本はOECD加盟35カ国中20位、主要先進7カ国中では最下位）等の日本特有の社会構造的課題があり、これに加えて、2020年東京オリンピック・パラリンピックがこれらの課題の解決・改善を難しくしていると言われております。

最近では、AIなどの技術革新が急速に進み、経済システムや産業構造も変わりつつある中、企業がこれからの存続・成長していくためにも、限られた労働力を最大限効率的に活かしていく「新しい働き方」への対応が求められます。このためには、部署内や他部署との情報共有や連携を徹底するなど、限られた人材に依存しない仕事の進め方を確立し、組織全体として生産性を高めていくことを模索することも必要と考えます。

年頭に当たり、解決・改善すべき課題を認識し、是非、社員一人一人が、自身の働き方を改めて見直し、身近なところから更なる業務の効率化・業務の質の向上に取り組んで頂くと共に、皆さんからの業務改善に向けた積極的な提案を期待したいと思います。

最後に、皆様にとって本年が更なる飛躍の年でありますことを祈念して、年頭の挨拶とさせていただきます。



取締役相談役
歌野 孝法

“No Challenge, No Fun”

2018年事業部門代表年頭挨拶

明けましておめでとうございます。ネットワークソリューション事業推進部の伊藤 達夫です。先ず、お礼から申し上げたいと思います。昨年2017年2月21日に我が部は誕生いたしました。誕生から今まで、役員を始め、多くの皆様のご支援をいただきながら何とか運営しております。本当にありがとうございます。今回は、私が日頃話している内容から、2点お伝えします。私もこの目標を目指していきたいと思っています。

【“0”から、“0.1”を生み出す】

“0”から“0.1”を生み出すのは確かに大変です。より高い目標を目指すほど進歩が遅くなるのは当然ですが、自分の力を信じて精力的に挑戦して下さい。0.1が出来れば、0.2、0.5、1.0、2.0、・・・と無限に伸びていきます。

【壁を作らない】

具体的には、「自分にこの仕事は無理だ」と言う壁を作らないで欲しいです。一度でも壁を作ると、自分自身に出来ないレッテルを貼ってしまうからです。自分の可能性を下げってしまうのです。そして新たな仕事が来た時、また無理だとなりやすいと思います。あることわざをまねると、壁は乗り越えるためにあるのです。毎日精励勤勉に前進していれば、困った場面に直面しても大丈夫です。壁は無くなり、周りの人も助けてくれます。ベートーベンが好んだ格言にも「向上心に燃えた有能で勤勉な人間には“ここで行き止まり”という柵は立てられない。」というのがございます。ぜひ、壁を作らずに新しいことに常に挑戦して下さい。

昨年、皆さんは、自分という大きな可能性の器に何を盛り付けましたか？入手する材料、調味料、自学、道具をフルに使って、今年も美味しい料理を盛り付けて下さい。最後に私の好きな詩に、サミエル・ウルマンの“Y o u t h”ががございます。興味がありましたらお読みください。



ネットワークソリューション事業推進部・部長
伊藤 達夫

新年のご挨拶

2018年事業部門代表年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます。サービス&プロダクト事業部の口石です。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年のサービス&プロダクト事業部は、波乱の一年となりました。サービス領域の新規受託開発にチャレンジしましたが、予定通りにならないことが多々あり、事業部内外の様々な方からご支援を頂くこととなりました。この場をお借りし、ご支援いただきました皆様へ心より御礼申し上げます。本年もプロジェクトは継続しますがプロジェクトメンバー一丸となって精一杯努力してまいりますので、尚一層のご指導とご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

さて、2018年は戌年ですが、戌に関する四字熟語に「犬馬の勞」というものがあります。「主人・主君や尊敬する人のために精一杯力を尽くすこと」という意味です。

今回プロジェクトが大変な時に、自分の業務が忙しいにもかかわらず平日、休日問わず様々な形でご支援していただいた皆様、暖かい励ましの言葉をかけていただいた皆様、改めて人の優しさを感じるとともに尊敬の念を抱いております。そんな皆様困ったときには全力でご支援させていただきたいと考えております。

また、今回の経験を糧に事業部内外問わず、困っている人がいるときには全力で支援できる態勢をメンバー全員で構築していきたいと考えております。

サービス&プロダクト事業部では、AIやIoT等の技術トレンドへのチャレンジ、自社製品・サービスの立ち上げにも積極的に取り組んでいきます。もし、皆様業務問わず日常生活の中でも、困っていることや、出来たら良いなと思うことがあれば、是非ご相談ください。

最後になりますが、皆様の今年一年のご健勝とご活躍を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



サービス&プロダクト事業部・マネージャー
口石 好輝

プロの技術者としてさらなる成長を遂げよう！

2018年事業部門代表年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます。モバイルネットワーク事業部の長尾です。本年も何卒、宜しくお願い申し上げます。

昨年は、既存ビジネスを大事にしつつ、早くから力を入れてきました「仮想化」という新しい技術分野においても規模拡大に成功し、お客様により大きく貢献をすることができました。昨年1年間、様々なご支援を頂き、本当にありがとうございました。

さて、いま、私たちが参画しているモバイル通信業界では、3G→LTE(4G)への移行が加速しておりますが、その先の5Gという次世代通信規格がいよいよ2020年にスタートします。

これからモバイル通信業界は更に賑やかになりますし、当社としても、ぜひ新しい技術分野へ挑戦をしていきたいわけですが、そこに向け、私が今感じているのは、これから事業の中核を担って頂く若手社員の皆さんに、技術の基礎をしっかり勉強し、得意分野を作ってほしいという事です。

当事業部の話題で恐縮ですが、昨年秋の情報処理技術者試験で、管理職、主査の方がそれぞれ応用情報技術者試験/情報処理安全確保支援士試験に見事合格されました。日々の業務で多忙の中、難度の高い資格試験に合格することは、並大抵の努力ではできないと思います。

若手社員の皆さんも、ぜひこういった資格取得等に挑戦してみてください。また、現在のご自身の業務内容にもっと興味や疑問を持ち、もっと理解を深め、もっと視野を広げて頂きたいという思いでいっぱいです。(そうすれば、少しずつですが仕事の面白さが分かってくると思います！)

ご自身の技術者としての価値を高め、仕事の幅が広がれば、新しい技術分野への挑戦もしやすくなりますし、結果、お客様により大きな貢献をすることも可能になります。

2018年、新たな1年がスタートしました。今年も様々な苦難が待ち受けている事と思いますが、部門長として皆さんのお役にたてる様、精一杯やらせて頂きますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



モバイルネットワーク事業部・マネージャー
長尾 春樹

新しく成長する事業部に向けて

2018年事業部門代表年頭挨拶

あけましておめでとうございます。本年も、株式会社プロフェッショナル・ネットワークスならびにネットワークサービス運営事業部をよろしくお願いいたします。

新しい年にあたりネットワークサービス運営事業部は、どのように成長していくべきなのか、今後新しいビジネスをどう進めて行くべきなのかを考えた時に、私はストロングポイントを軸に、組織的に遂行して行く事で事業部を進化させていきたいと考えます。

まず当事業部のストロングポイントですが、やはりお客様と一緒にキャリア様の保守・運用に携わっている事は、最新の動向を知る上で、最新技術動向を知る上でとてもアドバンテージがあると考えます。ただし、その情報や技術ノウハウが個人の中にとどまっている事が、なかなか次のステージに進めていけない理由ではないかと思っております。では、今一度考えなくてはいけないのは、その情報とノウハウがどのように組織の中に伝わっていくのか、それは事業部としての組織のコミュニケーションに他なりません。基本的な事ではありますが、報告・連絡・相談が弊社幹部と事業部内でスムーズに出来ているのか。正直に言うとも私ですが、道半ばであると感じざるをえません。また、コミュニケーション不足によるビジネスの機会損失も馬鹿にならないと考えると対策は必須です。

そこで、基本的な事ですが、メール、チャットを利用した情報共有の迅速化、並行して対面で話す事によるお互いの信頼関係の構築を今年度は徹底する事を目標とします。私も含めて、ベテラン多い事業部ですので、技術的なベースおよび個々の人間関係は、出来ている部分が多く、お客様の信頼には繋がっていると思います。

であるなら次はネットワークサービス運営事業部として、どのように進んで行くのか今年テーマと考えております。

本年も目標に向かって邁進してまいりますので引き続きよろしくお願い申し上げます。



ネットワークサービス運営事業部・エキスパート
植村 吉博

2017年 プロネッツグループ 大望年会

去る12月9日～10日、草津温泉「ホテル櫻井」にて社員旅行を兼ねた大望年会が開催されました。



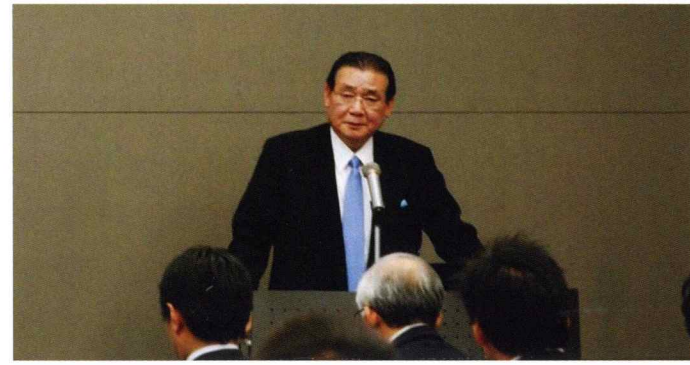
草津の湯をゆっくり満喫した後、プロネッツグループ毎年恒例の新しい年に望みをつなぐ「望年会」が開催されました。島倉峰雄社長より、一年間の労を労うお言葉と、来年の更なる躍進に向けて激励のお言葉を頂戴致しました。レクリエーションなども催され、盛大な望年会となりました。



社員旅行（12月9日～10日）～群馬県・草津温泉 ホテル櫻井



2018年 社長年頭訓示・新年会 ～1月4日 新宿NSビル30階・スカイカンファレンス～



2018年仕事始めの1月4日、島倉峰雄社長より年頭訓示を頂戴致しました。世の中の動きに敏感になり、勉学事始めの年にしてほしいとお話を頂きました。その後懇親会が催され、先輩後輩分け隔てなく食事を取りながら歓談しました。



★ プロネッツグループ全社員スマートフォン貸与のお知らせ ★

平成29年12月26日より、プロネッツグループ全社員にスマートフォンの貸与が行われました。貸与の目的と背景に関しては以下の通りになっております。

- ① 社員間のコミュニケーションのさらなる活性化
…通信環境に携わらせていただいている企業として、電話だけではなく文章でのコミュニケーションスキルも重要になってくる為。
- ② 社内情報の共有ならびに流通の効率化
…業務ロケーションが多岐にわたり、情報共有や流通に時間を要している為。
- ③ 自社の提供しているサービスの向上
…自社開発のスマートフォンを活用したサービスが、社員間で積極的に使用され更なるサービス向上へつなげる為。
- ④ スマートフォンリテラシーの向上
…マルチデバイスが当たり前である現在、自分が普段使用していないスマートフォン(iOSならびにAndroid)の良さを知ることが、今後の開発のヒントになる為。



★スマートフォンを活用して、コミュニケーションの輪を広げましょう★

第19回 『疑問に思うこと』

こんにちは、島倉です。新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。前回に続き今回の年末年始休暇も通常どおりのお休みの日数で、あっという間に過ぎてしまいました。新年を迎えたということで、気持ちを新たに素晴らしい1年にしていきたいですね。そのためにも、まずは心身の健康第一で今年も頑張っていきたいと思います！

前回の「がまんすること」はいかがでしたか。がまんという言葉はどうしてもネガティブに受け取られてしまいますが、決してそのようなことではなく、人間の心や体を鍛えるうえで非常に大切な言葉であること、ぜひご理解いただけたら嬉しいです。ただ、1つだけ注意していただきたいことは、がまんイコール溜め込むということではないので、そちらのご理解も宜しく願いいたします。

さて、今回のテーマは「疑問に思うこと」です。今回このテーマにした理由は、業務を行っているなかで、全体的に物事に対し疑問に思う（探究する）姿勢が弱くなってきているような気がしており、これを機会にぜひ立ち止まって考えていただけたらという思いから決めました。

私の話になってしまい大変申し訳ありませんが、私は物事を非常によく忘れます。というより、日々新しい情報が入ってくる（?!）ので、古い情報は消えてしまうというのが正しい表現なのかもしれません。（言い訳っぽくなってしまいごめんなさい。）相手の立場からすると、前に話しているから理解しているだろうと思って当然です。でも、本当に忘れてしまうのです。そのため、報告を受ける際は少し話を戻して説明をいただくことが多いです。少し話を戻してもらえると、今の自分では理解できないことがよくあります。恐らく、時間の経過のなかで私の考え方が変わったのか、または相手が誤解しているかです。わからないので相手に聞くと、よく言われるのが「常務が以前そうおっしゃいました」という言葉です。私は、この言葉を聞くと愕然とします。なぜかという、当時は確かに私が言ったのかもしれませんが、そもそも当時の私の考えが理解されていないことに対してです。考えに賛成とか反対とかそういうことではもちろんありません。私が言ったことにしてこの状況を切り抜けようとしているように見え、私がなぜそう言ったのかを考えてくれないと感じます。一言で言ってしまうと、人の責任にしています。そのように言われると、私は必ずこう返します。「そのとき、私はなぜそのように言ったと思う？」と。そうすると、沈黙の時間がしばらく流れます。「・・・」やはり、言われたことをそのまま鵜呑みにして疑問を持っていないのでしょうか。「・・・実は、おかしいと思っていたのですが・・・」。それって早く言ってというのが私の本音です。常務だからと言って遠慮する必要はないのです。何しろ、私は物事をよく忘れるのですから。

開発現場でもよくある会話です。なぜこのような仕様にしたのか技術者に質問すると、「仕様ですから。」と言われてしまい、その先の会話が進みません。質問は「なぜ」なのに。たとえば、「〇〇の背景があり、〇〇を考慮した結果、このようにしました。」などと話していただくと議論ができるのですが、「仕様です。」の一言で解決されてしまえば、本当に良いかどうか判断ができません。もっと言うと、そのシステムやサービスの本質を深く理解できていないのではないかと感じてしまいます。もし、そのような状況で機能開発をしてしまったら、開発前よりサービス品質の低下したファイルになってしまう可能性があります。ソフトウェア開発は作る事が目的ではなく、高品質かつ1人でも多くの方に利用していただくようなものを開発することが、本来の目的ではないでしょうか。いくら仕様と言っても、この仕様が本当に正しいのか。当時はこの仕様でよかったかもしれないが、今ではこの仕様では良くないという発想になってほしいのです。最近、OSSなどの活用によりゼロからソフトウェアを開発する機会がなくなってきました。どのようなシステムにするかなどの思想を検討する機会が着実に減っているのです。そのなかで私たちは、技術の伝承を行っていく必要があります。技術を伝承していくうえで重要なことの1つとして、個々が「なぜそうになっているだろうか」といった疑問を常に持ちながら開発することが、極めて重要なことであると感じる今日この頃です。作ることにゴールがあるのです。

第13回 ISMS 規格要求の理解 (その4)

今回は「5. リーダーシップ」について解説します。ISMS の規格 (JISQ27001) は下記より閲覧できます。

日本工業標準調査会ホームページのデータベース検索 <http://www.jisc.go.jp/>

5.1 リーダーシップ及びコミットメント

トップマネジメントとは、「最高位で組織を指揮し、管理する個人又は人々の集まり」と定義されています。つまり組織内で権限を委託でき、また資源を提供する力を持っている人を指します。

実際には会社の社長であったりしますが、4章で定めた ISMS の適用の範囲が会社全体でない場合、例えばある事業部に適用させている場合は、その事業部の責任者（事業部長）がトップマネジメントになります。

そのトップマネジメントが、実証しなければならないリーダーシップとコミットメント（約束）が書かれています。

5.2 方針

「方針」とは、「トップマネジメントによって正式に表明された組織の意図及び方向付け」のことです。「正式に表明された」というのは、「文章として正式に提示された」と読み替えてもいいでしょう。つまり「情報セキュリティ方針」という文章が必要になります。その方針に盛り込まなければならない事項とこの方針が満たすべき事項が定められています。

当社の情報セキュリティ方針は当社のホームページ <https://www.pronets.co.jp/iso/> に掲載されていますので参照してください。

5.3 組織の役割、責任及び権限

トップマネジメントは、自分以外の人に、ISMS に関する責任や権限を付与することができます。具体的には、(1)実際の業務を、きちんと ISMS 規格の要求事項を満たすようにする、(2)その結果（パフォーマンス）をトップマネジメントの報告する、の2点に関しての責任と権限を、ISMS 責任者に割り当てる必要があります。

ISMS に関する責任と権限の具体例

名 称	責 任 ・ 権 限
社長	会社を代表し、ISMS の継続的改善の責任・権限
ISMS 管理責任者	ISMS の執行上の総責任（社長により任命）
事業部長	各事業部を統括管理する責任・権限
品質保証部長	全社の品質管理の推進の責任・権限
事業計画室長	受注に関する経理手続きの責任・権限
情報システム管理部長	社内情報システムの運用に関する責任・権限
教育委員会委員長	ISMS に関する教育の責任・権限

わたしの休日

連載 30 回目の「わたしの休日」は、前回に引き続き 2017 年度入社の新入社員の休日の過ごし方をご紹介します。今回ご紹介する新入社員の方々は、休日に散策や遠出をして、リフレッシュしているようです。みなさんも休日に今まで行ったことのない場所に訪れてみてはいかがでしょうか。

公園巡り ~安藤 凛太郎さん~

私は、休日によく公園巡りをします。公園に行って特に何をするわけでもなく、ただのんびり歩き回っているのですが、それだけで心が落ち着きます。半年前に横浜で一人暮らしを始めたため、今は神奈川で穴場を探している最中です。今回は、川崎にある大師公園に足を運びました。とても開放的で、日本庭園のある落ち着いた公園でした。

公園に行くと、四季を感じたり、その公園の良さを発見したりと、楽しみ方は様々だと思います。皆様も自分なりの公園での楽しみ方や、落ち着いた場所を探してみてもいいのではないでしょうか。



伊勢・志摩旅行 ~石井 綾さん~

私は休日を利用して、三重県の伊勢・志摩へ家族旅行に行ってきました。有名な伊勢神宮の外宮と内宮にお参りに行ったり、夫婦岩を見に行ったり、また英虞湾を遊覧船で回ったりといった観光をたくさんできてとても充実した旅行になりました。合わせて、普段離れて暮らす家族と久しぶりに過ごすことができ、日々の疲れを癒すことができました。

皆様も休日に普段の生活から少し離れて、遠出してみてもいいのではないでしょうか？ぜひ今まで行ったことのない場所に訪れて、日々の疲れをリフレッシュしてみてください。

食巡り ~岡崎 大志さん~

私は食べるのが好きで、休日になったら日頃から食べたいと思っていた料理を食べに出かけます。今回は事前に調べた、神奈川県横浜市に鶏つけそばを食べに行きました。注文したのは「鶏つけそば鶏白湯スープ」です。濃厚な鶏スープですが、麺にレモンを絞って食べるのでさっぱりした味のつけ麺でした。とても食べやすかったです。

食べるだけでなく、調べる楽しみ、お店に行く楽しみもまたあります。皆さんもぜひお休みの日は美味しいものを食べに出かけてみてはいかがでしょうか。



2018年プロネッツカレンダー 作品紹介

2018年プロネッツカレンダーが完成いたしました。今年も『日本の風景』をテーマに、社員が撮影した力作揃いとなっております。日本の美しい風景をどうぞご覧ください。

1 January



山梨県 富士山

2 February



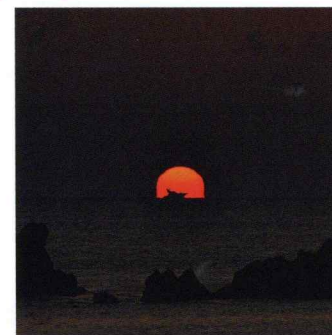
岐阜県 白川郷

3 March



東京都 羽根木公園

4 April



三重県 相模海岸

5 May



徳島県 渦潮

6 June



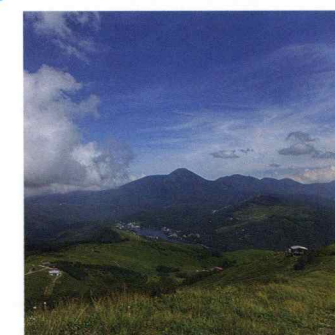
千葉県 本土寺

7 July



長野県 焼岳

8 August



長野県 白樺湖

9 September



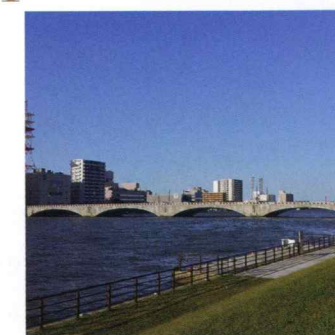
岡山県 倉敷美観地区

10 October



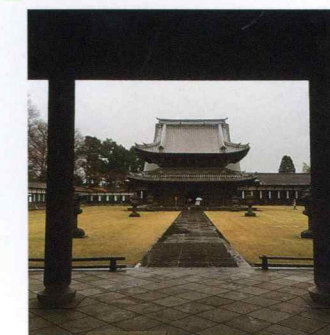
長野県 雲場池

11 November



新潟県 信濃川

12 December



富山県 瑞龍寺

日本の四季 プロネッツカレンダー

～写真背景紹介～

昨年度に引き続き、プロネッツカレンダーの写真背景を紹介いたします。今回は1月から3月までの「日本の風景」です。アクセス方法も掲載していますので、休日や長期休暇に足を運んでみてはいかがでしょうか。

1月：山梨県・富士山



富士山は、日本一の高さ(標高3,776メートル)を持つ活火山です。静岡県と山梨県を跨いだ場所にあり、太古から信仰の対象として人々に崇められています。世界遺産にも登録されており、日本の象徴的存在としても知られています。

その景観は大変美しく、多くの人々が美しい富士山の見物に訪れます。夏には登山道が解放され、富士登山を楽しむこともできます。

【所在地】：山梨県富士吉田市・南都留郡鳴沢村

【アクセス】：新宿駅より JR 中央線特急かいじ号で大月駅下車後、富士急行線で富士山駅下車 富士急山梨バス(ハイキングバス)で富士山五合目停留所下車(約2時間50分)

白川郷は、岐阜県にある世界文化遺産の一つで白川村を中心とした集落地帯です。豪雪地帯で暮らす人々が築き上げた合掌造りの家屋が印象深く、古いものだと400年を経過している家屋もあります。また、国の重要文化財である和田家は集落最大規模の合掌造りの家屋となっており、先人たちの歴史を感じることができる内部の見学もすることができます。

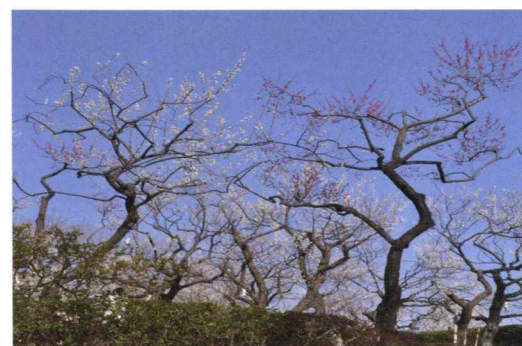
【所在地】：岐阜県大野郡白川村

【アクセス】：新宿駅より JR 中央線快速で東京駅下車後、JR 東海道新幹線で名古屋駅下車 隣接している名鉄バスセンターより高速白川郷線で白川郷 BT 下車後、徒歩11分(約5時間)

2月：岐阜県・白川郷



3月：東京都・羽根木公園



羽根木公園は、軟式野球場などの施設のほかに子供が自由に遊ぶことのできるプレーパークや約650本にも及ぶ梅林があります。梅林は、昭和42年(1967年)区議会議員選出記念として、55本の梅を植樹したのを始まりに、現在まで10回ほどの記念植樹が行われました。その中には飛梅伝説で有名な、太宰府天満宮の梅の木もあります。また2月上旬から3月上旬に行われる梅まつりは、世田谷の春の風物詩となっており、遠方からも多くの人々が訪れます。

【所在地】：東京都世田谷区4丁目38-52

【アクセス】：新宿駅から小田急線で梅ヶ丘駅下車後、徒歩5分(約20分)

編集後記

本誌を毎号ご覧いただき、ありがとうございます。さて、Net-You No.108はいかがでしたか。今回は、役員の方々そして各事業部門代表の挨拶や、望年会、新年会といった年末年始ならではの社内行事をお届けいたしました。いつもと違った雰囲気の様子の様子、少しでも感じ取っていただければ幸いです。皆様のコミュニケーションツールとして、ぜひご活用くださいませ。

広報誌 Net-You では、皆様からの投稿をお待ちしております。日頃から実践している自己啓発や最新の技術情報の紹介など、皆様の自己表現そして相互理解の場として、広く活用されることを期待しております。

プロネッツグループ Net-You 編集委員会



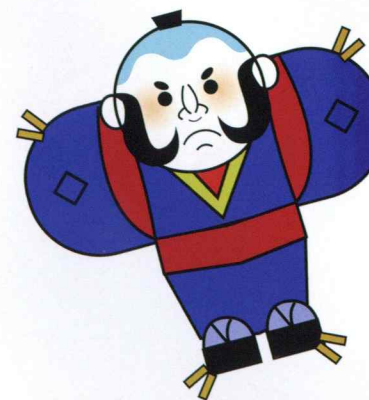
発行名 プロネッツグループ広報誌 Net-You No.108
発行日 2018年1月26日
発行者 プロネッツグループ Net-You 編集委員会
発行所 ㈱プロフェッショナル・ネットワークス
〒163-0828 東京都新宿区西新宿2-4-1(新宿NSビル28F)
TEL 03-5324-0311 FAX 03-5324-0310
E-mail: info@pronets.co.jp
URL: https://www.pronets.co.jp



表紙の写真『三重県/英虞湾』

●撮影者：石井 綾

※Net-You では、皆様からの風景写真も募集しております。旅先などで撮影した風景で Net-You の表紙を飾りませんか？ 詳しくは編集委員にお問合せください。





株式会社プロフェッショナル・ネットワークス

〒163-0828 東京都新宿区西新宿 2-4-1 (新宿 NSビル 28F)

TEL 03-5324-0311 (代) FAX 03-5324-0310